

# 新型コロナ第5波への対応 (対策パッケージ)

令和3年8月18日 兵庫県知事 齋藤 元彦

## 新型コロナ第5波への対応（対策パッケージ）一覧

区 分	内 容
1 医療提供体制の強化	
(1) 保健所体制の強化	<p>①支援体制の強化</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・民間派遣：56人→69人(+13人)</li> <li>・保健師バンク：7人→18人(+11人)</li> <li>・本庁等の県職員：0人→50人(+50人) など約100人増員</li> </ul> <p>②業務の重点化（特別期）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・保健所保健師は「家庭訪問等」に重点対応</li> <li>・民間派遣や県応援職員を中心に「疫学調査等」を実施</li> </ul>
(2) 自宅療養・待機者対策の強化、 搬送体制の確保	<p>①自宅療養者等対策の強化</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・パルスオキシメーター：+1,000個(3,300個→4,300個)</li> <li>・保健師等相談：+10人(1人→11人)、</li> <li>・食料品(5日分/セット)：100カ所/日→希望者全員</li> <li>・酸素供給装置：+30台(140台→170台)</li> </ul> <p>②搬送体制の確保</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・民間救急車等（16社42台確保）の確保に向け5社と調整中</li> <li>・保健所の搬送体制の強化：会計年度任用職員17人を雇用</li> </ul>
(3) 宿泊療養施設の拡大	<p>○施設の拡大 施設総数 : 10⇒12(+2施設) うち医師派遣施設：3⇒7(+4施設)</p>
(4) 病床数の拡大	<p>○全医療機関に対して、荒木副知事をトップにさらなる病床確保を要請</p>
(5) 抗体カクテル療法、 ネーザルハイフロー療法	<p>①抗体カクテル療法</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・入院医療機関での投与を基本に、宿泊療養施設の活用についても関係機関と協議</li> </ul> <p>②ネーザルハイフロー療法</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・中等症以上の患者を受入れる機関に、設備整備経費を支援（約20機関）</li> </ul>
2 ワクチン接種の促進	<p>①県大規模接種会場 2会場で2,000人/日（最大）の接種体制をワクチン確保を前提に継続</p> <p>②若者対策の検討 若者のワクチン接種を促す対策の検討（啓発活動、インセンティブ付与等）</p>
3 コロナ対応のロードマップ	<p>○メッセージ 緊急事態宣言期間が秋以降の経済活動の制限緩和に向けた“踏ん張りどころ”</p>

# 対策パッケージ

<b>1 医療提供体制の強化</b>	・ ・ ・	<b>1</b>
<b>(1) 保健所体制の強化</b>	・ ・	<b>1</b>
<b>(2) 自宅療養・待機者対策の強化／搬送体制の確保</b>	・ ・	<b>2</b>
<b>(3) 宿泊療養施設の拡大</b>	・ ・	<b>3</b>
<b>(4) 病床数の拡大</b>	・ ・	<b>4</b>
<b>(5) 抗体カクテル療法／ネーザルハイフロー療法</b>	・ ・	<b>5</b>
<b>2 ワクチン接種促進の強化</b>	・ ・	<b>6</b>
<b>3 コロナ対応のロードマップ（イメージ）</b>	・ ・ ・	<b>7</b>

# 保健所体制の強化

## 支援体制の強化

- ・ 民間派遣：56人 ⇒ 69人（+13人）、保健師バンク：7人 ⇒ 18人（+11人）  
 本庁等の県職員：0人 ⇒ 50人（+50人）など **合計約100人増員**
- ・ 診療医と保健所間での患者情報の共有を医師会等と連携して実施

## 業務の重点化

保健所保健師は、自宅待機者・療養者への「家庭訪問等」に重点対応  
民間派遣や県応援職員を中心に「疫学調査等」を実施

## 業務の重点化

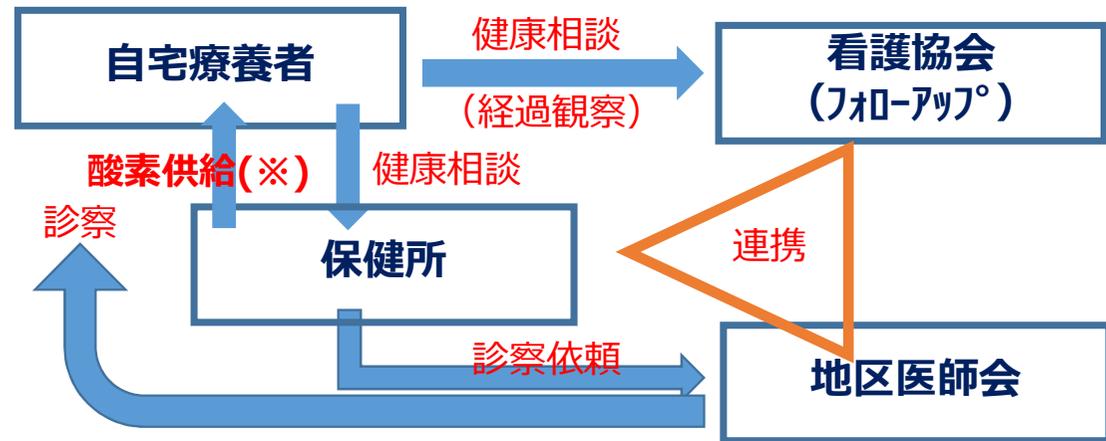
区分	小康期～増加期	拡大期 1 (国ステージⅢ)	拡大期 2 (国ステージⅣ)	特別期 (総合判断)
疫学調査 電話相談	保健師	看護協会・看護系大学・本庁保健師		
		民間派遣を活用した応援チーム		
家庭訪問		保健師	保健師	フォローアップ強化

県職員等  
(応援)

## 自宅療養者等対策の強化

### 【今回拡充】

- パルスオキシメーター 1,000個追加  
3,300個 ⇒ **4,300個**
- 保健師等相談 10人増員  
1人 ⇒ **11人** (看護協会)
- 食料品 (5日分/セット)  
100カ所/日 ⇒ **希望者全員**
- 酸素供給装置 30台追加  
140台 ⇒ **170台**



(※) 県内12保健所等の酸素供給体制を強化

## 搬送体制の確保

### ① 民間救急車等

現行 (16社42台) から、さらなる確保に向け **5社 (民間タクシー会社)** と調整中

### ② 保健所の搬送体制

新たに会計年度任用職員 **17人** を雇用し、搬送体制を強化 (8月中)

# 宿泊療養施設の拡大

## 施設の確保及び医療ケア充実

《8月の拡大数》

施設総数：10 ⇒ 12 (**+ 2 施設**) ※酸素供給装置を設置

うち、医師派遣施設：3 ⇒ 7 (+ 4 施設)

区 分		神戸	西宮	姫路	計
確保 状況	施設数	<b>7→9</b>	<b>1</b>	<b>2</b>	<b>10→12</b>
	室 数	<b>936</b>	<b>200</b>	<b>339</b>	<b>1,475→約1,700</b>
医療 ケア	医師派遣施設数	<b>1→5</b>	<b>1</b>	<b>1</b>	<b>3→7</b>
	室数	<b>142</b>	<b>200</b>	<b>189</b>	<b>531→約950</b>
	酸素供給設置数	<b>35→40</b>	<b>10</b>	<b>12</b>	<b>57→62</b>

## 病床数の拡大

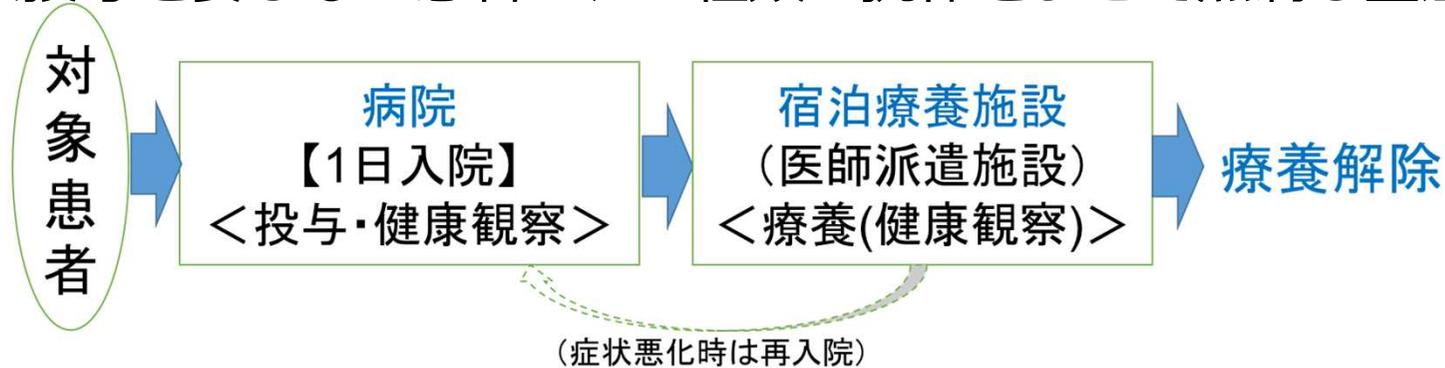
**全医療機関**に対してコロナ病床の新設・増床にかかる意向及び課題を確認し、**荒木副知事（コロナ対策本部事務総長）をトップ**にさらなる病床確保を要請

### 現状（8/17）

区分	確保数	患者数	差引	使用率（ピーク）
入院	1,237	764	473	61.7%（85.1%（4/22））
（うち重症）	142	43	85	40.1%（83.0%（5/6））

## 抗体カクテル療法【実施の検討】

入院医療機関での投与を基本に、宿泊療養施設の活用についても関係機関と協議  
 (酸素投与を要しない患者に、2種類の抗体を混ぜて点滴し重症化を防止)



## ネーザルハイフロー療法【実施に向けた支援】

中等症以上の患者を受入れる機関に、設備整備経費を支援 (約20機関)  
 (患者の鼻に管を差し込み、高濃度の加湿された酸素を大量に送り重症化を防止)

区分	重症	中等症Ⅱ	中等症Ⅰ	軽症	計
病床数	142床	556床 ネーザルハイフロー療法	300床 抗体カクテル療法	239床	1,237床

# ワクチン接種促進の強化

## 県・大規模接種会場

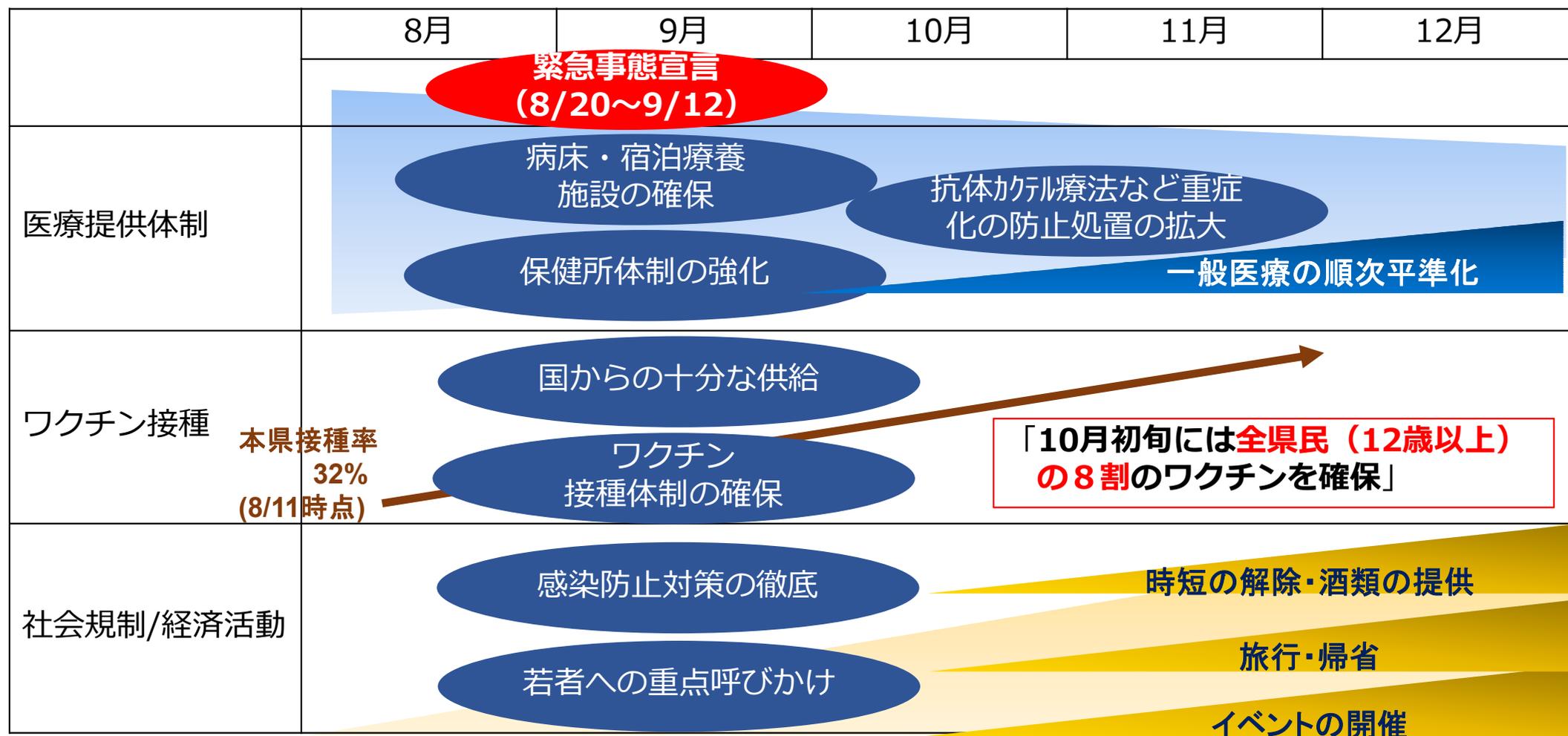
2会場で**2,000人/日（最大）**の接種体制をワクチン確保を前提に**継続**



## 若者対策の検討

若者のワクチン接種を促す対策の検討（啓発活動、インセンティブ付与等）

# コロナ対応のロードマップ（イメージ）



緊急事態宣言期間が秋以降の経済活動の制限緩和に向けた“踏ん張りどころ”